

大雨への迅速な対応



7月9日、町内は猛烈な雨に見舞われ、午前8時台に大雨警報と土砂災害警報が発令されました。これを受け町では災害対策本部を設置し、高齢者等避難を発令。生涯学習センター、富長交流センター、福祉避難所「てとて」を避難所として開設しました。また、昨年築堤工事にあわせて設置された寺下排水ポンプも稼働し、排水しました。

今後も急な天候の変化などに注意するとともに、非常時持出品などの準備をして、非常時への備えを十分に行なってください。

火災に備え、練習の成果を発揮



6月30日、アユパークで令和6年度舟形町消防団ポンプ操法審査会およびポンプ性能検査が行われました。

ポンプ操法審査会では、各部より5名の団員を選出し、練習の成果を存分に発揮しました。また、火災の際に消火活動を行えるよう、消防ポンプの性能を検査しました。

最優秀賞 第2分団第2部(長沢)
 優秀賞 第5分団第9部(富田)
 敢闘賞 第3分団第21部(太折)
 第6分団(堀内・実栗屋)

ボランティアで気持ちの良い道路に



6月18日、舟形町建設業協会(会長 長倉誠一さん)の8社が一の関大橋から舟形若あゆ温泉までの町道の除草作業とごみ拾いをボランティアで行いました。たくさんの方が利用するこの道路。長倉会長は「舟形若あゆ温泉に、気持ち良く足を運んでもらいたい」と話していました。

7月20日から22日の3日間、舟形小学校36名と世田谷区立代沢小学校93名、同区山崎小学校51名の5年生児童が交流し、鮎つかみや花笠踊りを楽しみながら3日間をともに過ごしました。なお、代沢小学校との児童交流は今年度ももって、長い歴史に幕を下ろすことになりました。

世田谷区舟形町 児童交流学習事業



鮎釣り解禁にあわせ 防犯パトロール



7月1日、町防犯協会(会長 伊藤準悦さん)が車上狙いの被害防止を目的に実施しました。

犯罪のない 明るい社会へ



7月1日、町保護司会から「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージが町長に伝達されました。

元気な声で「いらっしやいー」



7月12日、ほほえみ保育園で園児たちが緑日こっこなどを楽しむサーフェスティバルが行われました。

救命救急講習で 防災力強化



7月7日、中央公民館で地域に根差した防災力強化を目的に、消防団員向けの救命救急講習が開催されました。指導は最上広域消防本部南支署の青柳隊員ら2名があたり、加藤嘉久団長ほか25名の消防団員が参加し、心肺蘇生法やAED使用などの訓練を行いました。受講した団員には普通救命講習修了証が交付されました。

青柳隊員は、「最上地域では年間200〜300件ほどが心肺停止状態で搬送されており、心肺蘇生法などの応急手当は非常に有効です」と話していました。

保護猫・犬の里親になりませんか



7月7日、木友地内でわんにゃんサポートしんじょう(代表 小庄司澄江さん)による保護猫・犬の譲渡会が開催されました。この活動は保護した猫や犬を、里親に繋ぎ、生涯大切に飼ってもらうことを目的としています。また、活動の一環として、保護した猫や犬の医療費確保などを目的としたバザーの開催や、インスタグラムでの情報発信などを行っています。

訪れた方は「動物の命が助かるのは良いことだし、いろいろな猫や犬と会えて楽しいです」と話していました。

深めよう 地域のつながり



7月7日、長沢地区交流会が開催され、グラウンドゴルフのほか、カラオケや舞踊で盛り上がりました。

大自然のパワーで 心身ともに健康に



6月30日、堀内元気安心ふれあい協議会の案内で薬師の森(松橋)の散策や、森の演奏会を楽しみました。

台湾東部沖地震被災地支援募金

町では、令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 14,070円 (6月30日現在)

能登半島地震被災地支援募金

町では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 817,392円 (6月30日現在)

※寄付金は、舟形町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に届けられます。

▼問い合わせ/舟形町総務課総務係 ☎(32)2111